

人間の知性とコンピュータ科学の未来

—2040年、コンピュータは人間を超えてしまうのか—

コンピュータ科学の世界では、「シンギュラリティ」(singularity)、すなわちコンピュータの能力が人間の知性を超える日が早晚訪れるという意見が広がっています。第1回トピクス会議では、未来学者、コンピュータ草創期の科学思想家、コンピュータ科学分野のさまざまな研究者、コンピュータと実際に勝負した棋士、さらには哲学者や人類学者の方々をお招きし、このシンギュラリティの問題を通じて、人間の「暗黙知」や「身体性の知」の意味、さらにはマン＝マシンの共進化について議論してまいります。

開催日時●2012年9月21日(金)10:00⇒17:30

場所●六本木ヒルズ森タワー49F アカデミーヒルズ内タワーホール

参加費●20,000円(昼食代含む) *8月31日までお申し込みの方は16,000円となります。

主催●ワールド・ワイズ・ウェブ・イニシアティブ 後援●株式会社富士通総研

プログラム●以下をご参照ください。

- 1 **基調講演** 「われコンピュータに敗れたり。されど…」(仮題)
日本将棋連盟 会長 米長邦雄

- 2 **ランチ・セッション** 於六本木アカデミーヒルズ内ライブラリー・カフェ
『『ワールド・ワイズ・ウェブ・イニシアティブ』(w3i)の目的と活動方針』
一橋大学 名誉教授(w3i 発起人) 野中郁次郎

- 3 **ダイアログ・セッション** **問題提起**
「コンピュータが人間を超えるという未来は起こりうるのか」(仮題)
シンギュラリティ大学 前総長、エグゼクティブ・アカデミックス ディレクター ニール・ジェイコブステイン
ヤフーリサーチ プリンシパル・リサーチ・サイエンティスト エリザベス・チャーチル
ディスカッション
「シンギュラリティの論点：人間の知性 vs. コンピュータ」
【コメンテーター】
オックスフォード大学 オックスフォード・インターネット研究所 教授 ウィリアム・ダットン
シンギュラリティ大学 前総長、エグゼクティブ・アカデミックス ディレクター ニール・ジェイコブステイン
ヤフーリサーチ プリンシパル・リサーチ・サイエンティスト エリザベス・チャーチル
北陸先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 教授 飯田弘之
総合研究大学院大学 教授 長谷川真理子
慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科 教授 前野隆司
【モデレーター】
多摩大学大学院 教授(w3i 発起人) 紺野 登
国際通訳者 武部恭枝
【ビデオ・メッセージ】
スタンフォード大学 工学部 コンサルティング教授 ポール・サフォー
ビューポイント・リサーチ・インスティテュート 所長 アラン・ケイ
マサチューセッツ工科大学 メディア・ラボ 所長 伊藤穰一
キングストン大学 近代西洋哲学部 教授 カトリーヌ・マラブー
【第1部】シンギュラリティの起源：人間はなぜ人工知能をつくらうとしたのか
【第2部】意味：人間の脳とコンピュータの違い
【第3部】未来：人間とコンピュータの共進化

- 4 **総括** 「東洋の知と西洋の知が生み出す弁証法的ダイナミズム」(仮題)
一橋大学 名誉教授(w3i 発起人) 野中郁次郎